

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

No.
Nov.
2007



ガバナー事務室

T342-6041
埼玉県吉川市横川2-7
国際医療ビル2・3階
TEL 048-983-2778
FAX 048-983-2799



G O V E R N O R

M E S S A G E

熱意あるロータリアンの皆様。

ロータリー財団を理解し、支援しましょう！！

ガバナー 中村 駿浩（吉川イブニング）

物の実が目増しに色づき、夕焼けと相まって美しい景色となっていました。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

公式訪問も6回を経てまいりました。皆様のロータリーに対する熱い思いを肌に感じて力強く感じている今日此の頃であります。

ロータリーの奉仕活動は世界平和への理解と人道奉仕活動の実践です。ロータリアンには三つの奉仕活動が期待されています。他人を思いやる「心の奉仕」、国際社会及び地域社会においてロータリアン自らが汗をかく活動「体の奉仕」、そして米山記念奨学事業と国際ロータリーのロータリー財團に対する「金銭的な奉仕活動」です。

今月はロータリー財团月間です。ロータリー財団は数多い奉仕プロジェクトを我々に提供しています。世界の紛争解決を目的とする世界平和フェロー、国際観音援学生、そして、衆目中のブルジルのG32チーム、1985年から始まったボリオ闘病運動など、多項目にわたりプロジェクトを展開しています。日本におけるロータリー活動の重鎮の両輪「米山記念車庫」と「ロータリー財団」にご理解を頂き活動に取り組んでください。ロータリー財団の車庫の取り組むことが、クラブに於ける「国際奉仕活動」と「社会奉仕活動」の実践に繋がって「効果的なクラブ」の誕生を促進します。

ロータリー財団月間に因んで

国際ロータリー第2770地区

2007-08年度 ロータリー財団部門

委員長 鈴木 予之吉（講和東RC）

ロータリー財団部門の各委員会の講演活動に対し、地区内各クラブとロータリアンの皆様から寄せられた盛大なるご支援とご協力のお陰で、毎年素晴らしい成績を収めさせて頂きました。心から厚く御礼を申し上げます。今年度も各委員会のものと委員会活動を併せて展開しております。財団のプログラムの中で、当地区が関わるプログラムは、国際親善奖学金、世界平和フェローシップ、財政学友、研究グループ交換、地区運動会、マッチンググランツ、ボリオ・プラス・パートナーのプログラムを推進しています。このプログラムを通じての影響力は、何と言ってもロータリアンのご協力によるご賛同です。

この賛同達成のために、財団増進・ボリオ委員会が中心になり毎年1ヶ月の財団月間に各クラブに感謝に赴き、財団プログラムの理解とプログラムへの参加の要請、賛同達成の推進を図っています。今後も宜しくお願ひ致します。

当地区的主な財団プログラムへの参加は員員的にはロータリアン以外の人々、地域の優秀な人材を参加させることです。この参加をサポートするのが強化であり、クラブであり、私々ロータリアンなのです。そのため財団プログラムの広報を地区とクラブが一体になって進めて行く必要があります。プログラムを地域に広めることは、ロータリーと財団の更なる協調と理解につながり、賛同達成に大きく貢献できると確信しています。

財団プログラムを広報し、プログラムへの参加推進を図りましょう!!

このことは、

クラブの活性化に必ずつながります

地域にロータリーを広めます（広報）

ロータリーの価値が高まります（イメージ・アップ）

そして、地区テーマの『豊富あるロータリアンとして行動しよう!!』を実現し、ロータリアンとして財団プログラムを広報し、参加を呼び掛けることで、クラブは地域に広く認知され、必ず会員増殖にもつながります。 謙虚よりましょう!!

今年度の地区財田テーマ：

『世界と地域でよいことをしよう』そして『目標ぞう増進100%』

このテーマのもと、各委員会は邁進っています。宜しくお願ひ申し上げます。

ロータリー財団月間に寄せて

財団増進・ボリオ委員会

委員長 下 和 基（大富シティRC）

「国際ロータリーのロータリー財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を進め、貧困を撲滅することを通じて、世界理解、調査、平和を達成できるようにすることである。」

今年度の地区のテーマを鈴木予之吉委員長は次のように定められました。

「世界と地域でよいことをしよう、そして目標ぞう増進100%」です。

11月の財団月間に組、地区内の各クラブを回って「財団月間の賛同の内容とゆくえ」「財団プログラム（国際親善奖学金、世界平和フェロー、G-S-E研究グループ交換や地区運動会支給、マッチンググランツ他）等について説明をして頂き、プログラムを理解させめる等の寄付（選別）をお願いして参りました」と思っています。

今年度のカナダの財団委員会のウルフリット・J. ウィルキンソン氏は「ROTARY SHARES」「ロータリーは分かれあいの心」を掲げておられます。時間・才覚・専門知識・資金・思いやり・懇意を分かちあうことによって、生まれない人々を助け、より良い社会を築き上げようということです。世界だけでなく分かちあうの財団もあります。



ロータリーは奉仕と服務の中で感動を與える素晴らしい世界的組織です。
 私の好きな言葉に「魂が魂がめがねを捨てて、お嬢お嬢ゆげで生きよ」という言葉がありますが、人生への感謝と感謝のロータリーライフを皆さんと一緒に歩みたいと思います。
 人生への感謝のしるとしてぜひ財团の等々をお一人お一人の積み重ねで広く聞くお願いします。
 「感謝して 奉仕するのが 感謝がある」であります。

財团奨学学生委員長として

財团奨学学生委員会

委員長 鈴木 英男 (越谷RC)

財团奨学学生委員会は派遣国奨学奨學生、受入国奨学奨學生、財团学生の3部門を担当しております。現在、2008-2009年度派遣国奨学奨學生が専門選定会の2名を含め6名おり、また、ベトナムから2007-2008年度受入国奨学奨學生が1名来日し、文教大学に留学しております。

派遣国奨学奨學生については留学まで5回のオリエンテーションが義務付けられ、2回まで修了しておりますが、このオリエンテーションには受入国奨学奨學生、世界平和フェローにも参加しております。委員長として、特に派遣国奨学奨學生がオリエンテーションで留学に向けてしっかり学び、自分の希望する留学校に入学出来る事を一番の願いとしております。そして、留学先では多くのロータリアンとも交流を図りながら自分の専門分野について勉強し、帰国後は留学で学んだ事を生かし各分野で活躍して頂ければと思っております。

留学を経えますと財团の学生になりますが、実際に帰国してしまうとなかなか連絡の取れなくなってしまうのが現状です。帰国後の財团学生の名簿を整え、懇親クラブ、地区の人財になるように尽力してまいります。

間もなく、2009-2010年度派遣国奨学奨學生の募集が始まりますが、例年に増して、各クラブに協力をお願い致します。

研究グループ交換委員会

委員長 牛山信廣 (草加RC)

研究グループ交換 (G S E) の目的

専門職を有する25歳から40歳までの若い職業人を世界各国の地区上場社に派遣チームを交換し合い、風文化体験しながら職業研修を行います。個人の発音を高めるとともに相手の国を理解します。プログラムに参加し経験を分かち合うことによって、ロータリーの貢献的な使命を認識できる財团の重要なプログラムの一つです。

今回の相手国はブルジル地4・80地区(サンパウロを中心とした地区)です。

●受入活動：サンパウロチームは平成19年10月18日に到着し、約一ヶ月間滞在し11月15日に帰国します。

・ホストアドバイザーを引導受けて下さる会員・家族にお世話をなります。

実施で出来た国際観音です。GSEプログラムの透明らしさを体験出来ます。

帰還活動

2009-08年はブルジル移籍100周年を記念する年です。この時期に合わせて2770地区チームは平成20年5月23日にサンパウロに到着し、約一ヶ月間滞在します。利子国の地区大会及び教育行事に出展、そして職業研修と協力的に活動します。この貴重な体験を通じ、若い職業人にとって技術の向上、自己研磨の機会を得、ホスト国の文化や経済、政治に対する理解を深めて帰国します。最後のオリエンテーションでチームを団結上げ、研究グループ交換の目的を達成致します。

2770地区ロータリアンの皆様、ご支援お願うございます。

世界平和フェローシップ委員長として

世界平和フェローシップ

委員長 法谷廣慶 (大宮西RC)

世界フェローシップ委員会は、本年度新設された委員会です。

「早急な紛争解決の分野における国際問題研究の島のロータリーセンター（国際は、單にロータリーセンターと呼んでいる）」が2009年に創設され、世界平和フェローシッププログラムが誕生りました。



今世紀に入っても、止むことのない国際間の紛争、貧困層、そのような状況下で、ロータリーセンターで学んだ人々が、仕事を通じて世界平和の促進に有効な貢献を果たしている事実を見て、ロータリーセンタープログラムは、2005年1月、財團の恒久的なプログラムとなりました。

該基金の方針として、④地区内ロータリアンにロータリーセンター及び世界平和フェローを充分に認知、理解していただくこと、⑤世界平和フェロー候補の発掘、応募、推薦に尽力すること、⑥世界に多くの影響を与えていたるロータリーセンターの一つである、國際基督教大学（ICU）で世界平和フェローを受け入れ支援することを擧げています。

現在、2770地区では、國際基督教大学（ICU）で学ぶ第5期生　西倉めぐみさん（英國裡園）第6期生　JASON HUTSONさんを受け入れています。

JASON HUTSONさんは、八潮FC→2770地区推薦の世界平和フェローです。

第7期生の候補生も地区からは推薦され、世界で選考中です。ぜひ、第8期（2009-2011年度）世界平和フェロー候補生をご推薦下さい。

地区運動金委員会

委員長 増 澄 一 夫

ロータリー財団には使命があります。まずは自己成長が主ですが、全日本レベル、国際レベルへと進んでいきます。これらは、人道的であり教育的である文部省を通じて、ロータリーの使命を遂行することなので、そして世界の理解と平和を達成しよろとしているわけです。こういった流れで、地域社会運動プログラムを誕生させてみようということとなつたのです。これは国内や地区内の社会奉仕プロジェクトにロータリー団体から運動金として奨励金が出来るということです。これが良かったのでこの結果を元に、2003年7月1日から、地区運動金制度が始まりました。地区運動金委員会では、地域にとって何がふさわしいプロジェクトであるかを審査して、確実ふさわしいプロジェクトには、運動金をスムーズに出していくための審査基準をしております。今年度は全額でも10クラブに奨励金が出来ますが、これがなかなか上回りで基準に達する申請書が少ないのです。そこで委員会としては審査どうすれば承認される申請書になるかを指導しているわけです。まずは各クラブにお渡ししているロータリー財團地区セミナーハンドブックを良くお読みになって、正しい記入法でできるだけ早く承認されるような申請書を提出していただきたいのです。もう10クラブの申請で審査基準は切替ります。各クラブは、ふるって申請をして頂きたく思います。

管理運営部門セミナー報告

待ちあいの心



管理運営部門

委員長 大塚 信郎

管理運営部門セミナーは、自國9月号東日本を来るに随時中の9月7日、会長・会長エレクト・長尾計画委員長又は幹事・情報委員長を対象にさいたま県民健康センターにおいて開催いたしました。

当日は、260余名の参加を得て、「C.I.L.P.より効率的なクラブになるために」をテーマに、全体会議→長尾計画・ロータリー情報の2分科会→全体会議の3部に分けて行い、第一部は、中村ガバナーによる直連及びご挨拶、南野担当講師の挨拶に続き、藤田研修リーダーによる「私のロータリアン活動とロータリー一個體について」、X、田村バストがバナーには「C.I.L.P.特にクラブ長尾計画の感想について」の基調講演を開きました。

第二部、分科会の長尾計画部会では、有施設委員会の司会の下、田村バストがバナーにC.I.L.P.の基本的考え方をスライドを使い詳細に説明していただき、次に、有施設委員会より「クラブ振興書」・「クラブ長尾計画書」作成の手順を詳しく説明いたしました。そして、十分に質疑を行ったことにより、これらの書類を整備することによって、活動を育む、効率の良いクラブ運営が得意にわたって実現されることをご理解いただいたと思いたします。ロータリー情報分科会では、加藤研修委員長から、クラブで利用できる情報の発信面についてスピーチがあり、続いて飯野担当講師からユーモアを交えて生涯経験を例に「如何に構築の共有化が大切であるか」を説いていただき、続いて藤田研修リーダーから健全運営会での社説成立までの過程を詳しくお話を、特に重複範囲の解説をいただきました。懇親会07:30分では田部道から懸念な問題があり懇親を盛んに感じたいました。

第三部の本会議において、八郷・園原両リポーターの分科会監督があり、部門委員長の隣席に就き園原研修リーダーの立場をもって終了いたしました。沢山の成果と課題を持ち而去つて、これからもクラブ運営に生かしていくだければ幸甚です。

新世代部門セミナー報告

新世代部門委員会

委員長 片 寄 芳 美 (越谷商RC)



「ロータリー 100 年の大計は新世代」をテーマに伝承講習会の進行で 8 月 1 日 (金) に「ラフレキシティ」で地区内会長、幹事、新世代委員長、インタークト、ローターアクト、ライラ委員会会員代表と各グループ議長、各部門委員長、支倉として埼玉県物販組の秋田様、さいたま市立高橋、高木先生和西園内幹事のご出席をいただき中村ガバナー、新世代委員会開口式ストガバナーのご指導により盛大に開催されました。

中村ガバナーより新世代セミナーの挨拶いただき、次に開口バスストガバナーが講習委員として今年度の新世代の理想と意図を語られました。

中村ガバナーより新世代セミナーの挨拶いただき、次に開口バスストガバナーが講習委員として今年度の新世代の理想と意図を語られました。

今年度はガバナーの CLP 導入で従来の 4 部会委員会を委員会に統合しまして、新世代育成・インタークト委員会、ローターアクト・ライラ委員会として活動を行っています。



新世代育成、インタークト後委員会活動を松本委員長、ローターアクト、ライラ委員会活動を金杉委員長が発表しました。

まず、松本委員長より新世代育成では高校生の職場体験プログラムの取り組みを語られその結果中途退学が年々減少している。次にインタークトでは年次大會が終り、「あしなが尊全」を地区大會の口白、南浦和駅で開催するのでロータリアンのご協力をお願いします。

今年度は韓国で 3 月 5 の地区と 20 年の節目にとなり、来年 5 月に韓国、沖縄島で周年行事を盛大に開催予定です。

続いてローターアクト、ライラの会員委員会よりローターアクトの現地では選唱クラブがローターアクトを開催するには課題があり複数クラブで面倒を見る上になれば理屈です。

ライラ活動では、鹿児島の覚醒で開催する予定です。

開口バス 2008 年 8 月 29 日、30 日、31 日の 3 回 3 日です。

必ず参加する早朝学習で一人でも多くの研修生を各クラブで推薦して下さい。

基調講演では秋田様より「フレッシュ高校生社会体験プログラム」についてスライドを聞く、わかりやすく最近の高校生の現状を語られました。他に「新世代体験発表」では各研修生の体験を熱く語る各々の立場で語られる充満感な一日でした。

今後とも新世代に温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

広報部門セミナー報告

広報部門委員会

委員長 井 上 正 己 (さいたま中央RC)



去る、9 月 14 日さいたま市大宮区内ラフォーレ清水園に於いて「広報部門セミナー」が開催されました。出席者は各クラブ会長の他、広報、IT、情報、ロータリーの友の委員長又は、委員のうち 1 名、計 2 名の出席と、地区からは中村ガバナー、鹿田研修リーダーを始めガバナー補佐、各部門委員長の参加を頂き、出席者総数は 180 名でした。

はじめに中村ガバナーによるご挨拶と、鹿田研修リーダーよりご指導を頂きましたセミナーが進行しました。

今年度、中村ガバナーは広報部門に対して「確実的な広報活動が地域社会を貢献する公典の認識を高めます」という活動方針を示し「広報を全ての活動にリンクさせる」とする考えを重要認識とされました。今までややもするとロータリーはその活動を行なう事を嫌い、控えめにその成長を他人に譲っていました。そのため、活動が市民に理解されず、ロータリー活動の詳細を下げてきた自分があります。そして、活動の成長を公典と音うレッテルを張らぬ是正運動にも影響を及ぼした部分もあったからうと思われます。そこで、広報は各クラブに割りは一ヶ月一回に於て、広報活動のPR、情報の収集等について方法を教示してきました。しかし、広報すると言う事はまずはその活動が地域にとっていかに必要か、市民の方々といいかに手を携えた事態が出来るかが問題です。何がその地域に必要か、国、県、市がどのような方向を目指しているのか、ロータリーの活動と共に進む事があるのかを知る為、今回の「広報部門セミナー」で 8 月に 2 回目の派遣を果たしました上日知事



に講師としておいで頂き「日本一の瑞穂へーこれから約4年間」と言う事で講演を頂き、ロータリースンバーに今後の活動の為の懇親会を開催を致しました。

内容としては1回目の実験を踏まえて、島の安全、生徒の安心・安全、福祉、医療、女性チャレンジ、子育て支援、ロータリーと協力関係にある高校生の企画体験、NPO法人の問題、環境問題では水と緑の保全、創造、通用等々、開拓パートホール、野鳥ボランティアの活躍の話もあり、隣は最小の費用で最大の効果を上げる努力をすると語らう。今後にかける意図が語られました。その視聴者必修がありましたが、1時間の講演、30分の質問の予定期間をオーバーして、知事は優雅にに質疑に応じておりました。



知事が退席した後、川道委員長より委員会の基本理念、

種別ロータリーの意義より会への経験等についての説明があり、中村ガバナーより大成績の講評を頂きセミナーを終了致しました。その後、交流会を開催し、有志団体も登場となりました。セミナーに出席頂きました皆様には深く感謝を申し上げ、今後、益々各クラブが素晴らしい事業活動のもとに広報活動が成功する事をご祈念申し上げ、報告とさせて頂きます。ありがとうございました。

レディース増強フォーラム報告書

レディース会員増強委員会 委員長 石崎 潤（福川イブニングRC）

残暑厳しい9月21日「レディース増強フォーラム」が109名のエントリーを受け開催することができました。女性会員の増強は当地区だけではなく全国会の重要な事項としている中大勢の皆様にお集まり頂き賑々とした開催になりました。

負荷の分担で大変感謝しておりますイタリアンレストラン『ラ・ベットラ』のオーナーシェフ喜倉貴氏の講演、シャンソンを歌しながらの懇親会、時間は充分取れませんでしたが各テーブルセッション等では多くのご意見を頂きました。又、今後2770地区女性会員が一同に会し、意見交換等この様な会を開催するにはどのような形にしたら良いでしょうかの開口には、下記のようなご意見を頂きました。

1. クラブには女性会員が少なく地区原稿で集まるとき色々な情報を得ることが出来大変良い。
2. 女性会員同士の連携感が出来る。
3. 地区女性会員懇親会の催すをしたい。
4. クラブを超えた地区女性会員の奉仕活動に繋げつけたい。
5. 斎藤一朗に会ったのだから、セッション議題で開催して欲しい。

ご意見の一端ですが、2770地区女性会員の働きは皆様、歓迎を感謝しております。2003～2004年度に初めて地区女性会員の働きがあり、以降今年で5度目の開催となり内容は全て同じではありませんでしたが、喜びと期待は膨らんで来ています。

レディース増強委員会では今回のフォーラムには専会議を開いた会議準備をしておりました。会場に各クラブの会長・幹事・増強委員・女性会員の皆様のご理解とご協力を頂きました事に感謝いたしました事、誠に有難うございました。今後も女性会員増強活動の促進に努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



米山記念桜字学友会・桜学生会同奉仕活動報告

米山記念桜字学友会委員会 委員長 渡辺 博 司（上尾西）

9月29日(土)、吉川駅前で米山学友会・桜学生会合同奉仕活動が行われました。

当日はあいにくの雨にもかかわらず、中村ガバナー、副会長レクター、大屋ノミニー、吉川イブニングRCの皆様、学友会の皆様、米山高校生、米山駅門の皆様等83名の参加で吉川駅前ロータリー、さらに、いつも通り約18名の清掃活動が行われました。桜学生会のリタ・ハイさんが「一人一人は力量だと見ていましたが、予想以上にきれいになつたことに驚きました。この活動の結果考えたことはみんながうまく協力し合うことが大きな力を生み出すということではないかと思います。」との感想が印象的でした。



バストガバナー藤田直弘氏「超我的奉仕賞」受賞祝賀会

R.I.超我的奉仕賞



バストガバナー藤田直弘氏の「超我的奉仕賞」受賞祝賀会が、3クラブ合併で（吉川RC、吉川イブニングRC、船橋RC）9月27日午後8時、吉川市の吉川会員から、「RIが個人のロータリアンを称える最高の賞「超我的奉仕賞」をいただきたことは、常に素晴らしいもので、何時も見ても良いと思います。近年藤田さんのロータリー活動は極めて充実、洗練されてきたと感じています。洗練とは優雅で品位の高いことです」とチャーチメンバー間の心温まる言葉がありました。

藤田バストガバナーからは「今回の受賞は、私と活動を共にしていただいた多くのロータリアンの皆さん。そしてロータリー活動に理解を示し活動をバックアップしてくれた家庭ならびに各社の従業員のご支援の賜物と考えております。本当に有難うございました。

今後はこの受賞に恥じないよう、更にロータリー活動に励進してまいる所存です」と謝辞を述べられました。

アトラクションでは発音すみ予さんの《R.I.イブニングRC会員》「シャンソンのタペ」のプレゼントがあり会場は和やかな雰囲気になり盛り上がりました。最後に、参加者全員が「超我的奉仕賞」をいただきたような豊かな気分で「手に手つないで」を歌ってお開きとなりました。



お知らせ



2008～2009年度地区研修リーダーに
関口 博正
バストガバナー（横戸RC）
が決定しました。

2010～2011年度 ガバナー・ノミニー候補者推薦について

国際ロータリー第2770地区に所属するクラブは、地区ガバナー・ノミニー候補委員会に2010～2011年度ガバナー選出することが出来ます。

なお、推薦により推薦される2010～2011年度ガバナー候補者は国際ロータリー認則15,070より15,080の各項の要件を備えた会員でなければなりません。

また、地区ガバナー候補委員会が地区ガバナー・ノミニーの選択を行うに当たっては、その選択の範囲は、同規則11.020.04で規定される通り、地区内クラブによって推薦された氏名に限定されるものではありません。予めご了承願います。詳細については中村ガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

11月予定表

1日(木) 全式訪問 久喜酒場	10日(土) 月刊チー勝利会
1日(土) 地区大會	20日(火) ロータリー研究会
4日(火) -	21日(水) ロータリー研究会
6日(火) 全式訪問 川口西	22日(木) 第2回グループ1 M
7日(水) 全式訪問 大曾根	23日(金) 全式訪問 三郷、三郷中央
8日(木) 全式訪問 立川中央	24日(土) 全式訪問 越谷北
9日(火) 全式訪問 川口北都	25日(日) 全式訪問 さいたま中央
10日(水) 全式訪問 西園	26日(月) 全式訪問 さいたま中央
11日(木) 全式訪問 関谷里、栗原21	27日(火) 大東地区共同研修会

12月予定表

3日(月) 全式訪問 三日中央	4日(火) 全式訪問 大宮北原
5日(水) 全式訪問 関川、鹿児島、昭和	6日(木) 全式訪問 殿中中央
7日(金) 第3回研修会	8日(土) 東山講師の便15
9日(日) 東山講師の便16	10日(月) 月刊チー勝利会(合併)



ロータリー財團

東京財團 (JRCCT)	滋賀財團 (JGCT)	大分財團 (JFCT)	大分財團 (JFCT) 中間財團 (JFCI)	宮崎財團 (JPC)	鹿児島財團	沖縄財團
北 清治 <small>中間財團 (JFCI)</small>	竹ノ谷光義 <small>中間財團 (JFCI)</small>	西 幸治 <small>滋賀財團 (JGCT)</small>	西本順子 <small>大分財團 (JFCT)</small> 中間財團 (JFCI)	大原桂樹 <small>宮崎財團 (JPC)</small>	鈴井文介 <small>鹿児島財團</small>	沖田正男 <small>沖縄財團</small>
大藏 慶壽 <small>中間財團 (JFCI)</small>	鷲本毅男 <small>中間財團 (JFCI)</small>	鹿池國治 <small>滋賀財團 (JGCT)</small>	小嶋敏夫 <small>大分財團 (JFCT)</small> 中間財團 (JFCI)	片寄男英 <small>宮崎財團 (JPC)</small>	青木清二郎 <small>鹿児島財團</small>	井上 郁 <small>沖縄財團</small>
小山勝行 <small>中間財團 (JFCI)</small>	森井義明 <small>中間財團 (JFCI)</small>	飯野聰司 <small>滋賀財團 (JGCT)</small>	星野秀敏 <small>大分財團 (JFCT)</small> 中間財團 (JFCI)	東 勝文 <small>宮崎財團 (JPC)</small> 中間財團 (JFCI)	坂間正 <small>鹿児島財團</small>	岡田周志 <small>沖縄財團</small>
福田和季 <small>中間財團 (JFCI)</small>	長畠信孝 <small>大分財團 (JFCT)</small> 中間財團 (JFCI)	伊藤富嗣 <small>滋賀財團 (JGCT)</small>	島嶼 保 <small>宮崎財團 (JPC)</small> 中間財團 (JFCI)	小宮豊二 <small>鹿児島財團</small>	協谷泰一 <small>沖縄財團</small>	鈴木 伸一 <small>沖縄財團</small>
長沼威 <small>中間財團 (JFCI)</small>	直田亮一 <small>大分財團 (JFCT)</small> 中間財團 (JFCI)	鶴田慎一 <small>滋賀財團 (JGCT)</small>	遠藤久 賢敬 <small>宮崎財團 (JPC)</small> 中間財團 (JFCI)	岡谷秀郎 <small>鹿児島財團</small>	武藤健輔 <small>沖縄財團</small>	大宮廣之助 <small>沖縄財團</small>



巡回講演会

佐藤一郎 （佐藤一郎） 東京支社長	高橋一也 （高橋一也） 東京支社副支社長	本多重徳 （本多重徳） 東京支社幹事	高木信二 （高木信二） 東京支社幹事	山岸盛夫 （山岸盛夫） 東京支社幹事	國谷南春 （國谷南春） 東京支社幹事	黒田和也 （黒田和也） 東京支社幹事
大久保 守彌 （大久保 守彌） 東京支社幹事	沖田富司 （沖田富司） 東京支社幹事	清水清隆 （清水清隆） 東京支社幹事	酒井泰男 （酒井泰男） 東京支社幹事	白田信夫 （白田信夫） 東京支社幹事	唐國文彦 （唐國文彦） 東京支社幹事	河本昭子 （河本昭子） 東京支社幹事
堀田 勝 （堀田 勝） 東京支社幹事	小林忠司 （小林忠司） 東京支社幹事	曾口昭作 （曾口昭作） 東京支社幹事	石田和廣 （石田和廣） 東京支社幹事	赤坂 勝 （赤坂 勝） 東京支社幹事	鶴本栄男 （鶴本栄男） 東京支社幹事	鶴田勝志 （鶴田勝志） 東京支社幹事
白崎 宏内 （白崎 宏内） 東京支社幹事	青岡浩 （青岡浩） 東京支社幹事	豊谷川政功 （豊谷川政功） 東京支社幹事	中川高志 （中川高志） 東京支社幹事	岡口茂 （岡口茂） 東京支社幹事	岡嶋赳史 （岡嶋赳史） 東京支社幹事	森田 勝 （森田 勝） 東京支社幹事
中村義則 （中村義則） 東京支社幹事	合田信男 （合田信男） 東京支社幹事	宮原 実 （宮原 実） 東京支社幹事	堀川利樹 （堀川利樹） 東京支社幹事	後山義行 （後山義行） 東京支社幹事	浜曾青郎 （浜曾青郎） 東京支社幹事	星 勝二 （星 勝二） 東京支社幹事
北村健治 （北村健治） 東京支社幹事	井上 信 （井上 信） 東京支社幹事	宮下守美 （宮下守美） 東京支社幹事	鈴木慶司 （鈴木慶司） 東京支社幹事	橋本直子 （橋本直子） 東京支社幹事	周東康貴 （周東康貴） 東京支社幹事	



新会員のご紹介



新川 慎一
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



藤野 勝一
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



金子 錠文郎
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



渡辺 良輔
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



黒内山 勝一
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



町田 達也
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



宮崎 信義
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



幸島 航司
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



稲田 啓重
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



守田 一実
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



計富 路史
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



仁平 宏昭
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



清水 雄平
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



木村 一実
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



及川 勇周
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



佐藤 高幸
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



木岡 宜雄
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



関村 伸一
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



西野 邦洋
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



増越 敏夫
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



松本 博士
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



稻久井 駿
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



白井 順
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



野口 太津次郎
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部



長澤 駿
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）
東京会員登録部

会員

悩んでご相談をお祈り申し上げます。



大田 雅志会員
（会員登録）
平成20年4月1日入会
（ローリークラブ）

文庫通信 (241号)

ロータリー財團 日本ロータリー財團出版委員会の一つとして毎年刊行する会員誌です。

ロータリーライフの様々な侧面や世界の問題を取扱い、100余件の特集記事、豊富な会員のご経験に載せてあります。実業界、政治や学習によるご経験、実家・資料収集等の面でも、読者の皆様に喜んで頂いております。会員登録料、会員登録料に付けるローリー会員登録料にてお読み頂けます。

リラクゼーション施設にはロータリー文庫で「文庫通信」を置えてありますので、ご活用ください。以下資料のご請求を致します。

矢山月刊にあたって

- ロータリーライフタブ： 矢山月刊 1823 20p
- 雑誌ロータリー会員登録料： 矢山月刊 1823 8p
- ハーフトーナメントの書籍版矢山月刊登録料： 矢山月刊 1823-12-15 10p
- 丸山月刊： 矢山月刊 1823 20p 「国際化の矢山」上巻
- ハーフトーナメント登録料： 矢山月刊 1823 8p
- ロータリー文庫登録料： 矢山月刊 1823 8p
- 矢山月刊： 矢山月刊 1823 20p
- 矢山月刊と「文庫通信」（大田）： 各付録料 2007 20p
- 矢山月刊と「文庫通信」（大田）： 各付録料 2007 20p
- 矢山月刊と「文庫通信」（大田）： 各付録料 2007 20p



ロータリー文庫

〒106-0012 東京都港区北青山2-6-15
星雲文化園ビル3F
TEL 0336402-6456
FAX 0336459-7909
<http://www.rotary-tokyo.or.jp>
営業一ヶ月前18時～午後5時
休館一土・日・祝祭日

